

西日本岡谷管栄会

第12回総会を開催し 親睦深めさらには发展

岡谷鋼機
岡谷マート

中島誠一郎西日本岡谷管栄会会長が挨拶（中央

で組織する「西日本岡谷管栄会」(会長中島誠一郎氏)、ナカシマ会長)は11月18日、京都市伏見区の京料理「清和荘」で第12回総会を開催した。21社27名が参加し、2025年度の事業計画などを決定するともに、親睦を深め会員企業のさらなる発展を誓い合った。

総会に先立ち、京都市右京区にある臨済宗大本山妙心寺退藏院を訪れ、室町時代の画家・狩野元信作庭の枯山水庭園や池泉回遊式庭園「余香苑」などを散策。鮮やかな色

を楽しんだ後、松山大耕副住職による講話や座禅を体験した。夕刻から総会に臨み、はじめに中島会長が「西日本岡谷管栄会では、『歴史に学ぶ』をコンセプトに観光スポットを厳選し毎回好評を得ている。今回は、人見康裕副会長(ヒトミ社長)にご尽力いたたき、酒処としても有名な豊臣秀吉ゆかりの伏見城下にある料亭で開催させていただくことができた。お昼には講話を拝聴し、しばしの間日常を忘れて禅の精神に触れながら

いに飲んで情報交換を密にして岡さんを中心にお有意義な会となることを願っている」と挨拶した。続いて、幹事会社を代表し岡谷鋼機大阪店の大井佳孝取締役店長が挨拶に立ち日頃の営業協力を感謝の言葉を述べ、事務局から2024年度の事業・会計報告と25年度の事業計画・予算案について説明が行われ、それぞれ承認された。

議案審議に続き岡谷鋼機配管建設本部の大野学本部長が24年度の連結業績について説明を行い

「前期は皆様から」支援を賜り増収増益となつたが、今期は単体ベースで厳しい状況で潮目が変わってきたのではと実感している。今年は中期経営計画の最終年度でもありますので、目標達成に向けて全力を尽くしていきたい。物件減少、人件費高騰など厳しい環境が続くが、皆様に寄り添い役に立ててきましたのではと実感している。今年は中期経営計画の最終年度でもありますので、目標達成に向けて全力を尽くしていきたい。物件減少、人件費高騰など厳しい環境が続くが、皆様に寄り添い役に立てて

る商社となるよう頑張っていきたい」と概況を報告しさらなる協力を求めた。

は、大阪関西万博の影で現場がストップし、都圏も再開発が一段落した感があり苦戦した。価高による需要減、人不足による工期遅延のブルパンチで厳しい状況が続くと予想されるが力を尽くしていきたい。在庫の拡充、営業のフルアップのほかECサイトを立ち上げるなどIT

化にも積極的に取り組んでいるのでご活用いただきたい。皆様に選ばれる会社となるよう力を合わせてサービスの高付加価値化に努めていきたい」と業況を報告し閉会した。

総会終了後は懇親会が催され、同会副会长でもある岡崎産業の岡崎信一社長が乾杯の発声を行い



市に琵琶湖カントリー俱樂部三上・琵琶湖コースで有志による懇親ゴルフが行われ、秋晴れの絶好のプレー日和のもと日頃の腕前を競い合った。上位入賞者は次の通り（数字はグロスハンドicapの順、敬称略）。

△優勝＝岡崎信一（前出）103、31・2、71・8△2位＝檍原潤（前出）110、33・6、76・4△3位＝人見康裕（前出）97、20・4、76・6△ベストグロス＝岡崎大輔（キツツ大阪支社）

大阪第三営業所長）93。

う心もリフレッシュされたことと思う。なかなか真似できない貴重なお話ばかりだったが、学んだことを一つでも明日からビジネスにつなげていただきたい。後ほどの懇親会では名水“伏水”を使った日本酒もいただ



第12回総会



懇親会で親睦深める

開宴。伏見の地酒5種の呑み比べや新鮮な京野菜と旬の食材を使った会席料理を堪能しながら和やかに歓談が行われる中、ヒトミの人見康裕社長が同会のさらなる発展をいい威勢よく一丁締めを行ない散会した。